

STP PMOレポート/キー・マイルストーン&ビルディング・ブロックについて

米国証券業者協会(SIA)は、STP化の活動を推進するため、プロジェクト・マネジメント・オフィス(PMO)を設け、主要な活動についてのマイルストーン(達成期日目標)と達成状況をまとめ、継続的に公表している。主要な活動は、業者間取引関係者、個人投資家取引関係者、機関投資家取引関係者ごとにまとめられており、市場参加者および決済インフラ、技術ベンダーなどが一覧しやすいものとなっている。

現在公表されているマイルストーンの多くは、2004年6月までの達成が予定されている。これは、SIAが証券決済期間の短縮化、いわゆるT+1化を進めてきたスケジュールを基礎とするものであるが、SIAが活動の中心をSTP化に移してからも、DTCCなどインフラ側を中心に、システム更新・新規開発などの活動が継続的に進められている。

2003年においては、債券の照合インフラであるRTTM(Real Time Trade Matching)システムの実装や、業者間取引決済と対機関投資家取引決済の連携を図るIMS(Inventory Management System)の導入が予定されている。また、証券貸借リコール処理システム(ARMS:Automated Recall Management System)を複数の民間ベンダーが提供することを想定して、その間を連携するメッセ - ジング・ハブをDTCCが開発している。

このように、将来の証券決済期間の短縮に備えるだけでなく、決済処理の効率化やリスク低減を図るために、業界の課題を着実に解決してゆく姿勢は、わが国における証券決済制度改革の推進においても大いに参考となろう。

(注)SIAは2003年3月14日にマイルストーン変更レポートを発表した。その中で、本キー・マイルストーンに関係する項目は以下の2点:

- 1) P3にある「券面白書の改訂版を発表」の期限を、2003年6月30日から2003年9月30日に変更
- 2) P4にある「マッチング未決事項(事前アロケート済み取引など)への勧告を完成」の期限を、2003年3月31日から2003年5月16日に変更

本レポートは、日本証券業協会証券決済制度改革推進センターからの委託に基づき、(株)野村総合研究所 金融ナレッジ研究部が作成したものである。

STP PMOレポート
キー・マイルストーン&ビルディング・ブロック
2003年2月3日現在

STP キー・マイルストーン

業者間取引関係者	2001				2002				2003				2004				2005				
ビルディング・ブロックとマイルストーン	ステータス	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
業者間取引における情報伝達の早期化																					
DTCCが紙によるアウトプットを廃止	■	6/29/01 (マイルストーン完了)																			
DTCCが代行決済業者からの取引情報の日中取得化	■	11/16/01 (マイルストーン完了)																			
リアルタイム債券取引マッチング(RTTM)ソリューションに業界の同意を得る	■	12/31/01 (マイルストーン完了)																			
DTCCがQSR/ECNからの取引情報取得のマルチバッチ化を完了	■	3/29/02 (マイルストーン完了)																			
DTCCがニューヨーク証券からの取引情報取得をリアルタイム化	■	10/31/02 (マイルストーン完了)																			
RTTMインタラクティブ・メッセージの仕様を発表		3/31/03																			
DTCCがNASDAQからの取引情報取得をリアルタイム化		6/30/03																			
DTCCが引け後のバッチアウトプットを廃止		6/30/03																			
RTTM参加者テスト用スクリプト発表		6/30/03																			
RTTMユーザ・ガイド発表		9/30/03																			
DTCC QSR/ECNのリアルタイムまたはマルチバッチ取引情報提供への移行を完了		12/31/03																			
RTTM本番移行		12/31/03																			
ロック・イン済みフォーマットでの取引報告とアウトプットの改訂																					
株式取引報告のロック・イン化率100%達成		12/31/03																			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div> 開始前のマイルストーン 順調に推移しているマイルストーン 達成が疑問視されているマイルストーン 達成が危険視されているマイルストーン 完了したマイルストーン </div> <div> 規制関連 手続き/慣行関連 技術関連 主要ドキュメント関連 </div> </div>																					

注: この資料は月次で更新されます。SIAウェブサイト(www.sia.com)をご参照下さい。

STP キー・マイルストーン

業者間取引関係者		2001				2002				2003				2004				2005					
ビルディング・ブロックとマイルストーン	ステータス	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
CNSシステムの更新																							
新しいICNSTレード・レポジトリの作成														6/30/03									
シングル決済システムの実装														6/30/03									
CNSシステム更新 フェーズ Iの実装														6/30/03									
アンダーライティング・システムの拡張														12/31/03									
在庫管理システム(IMS)の実装														12/31/03									
CNSシステム更新 フェーズ IIの実装														6/30/04									
レファレンス・データの標準化と業界標準プロトコルへの移行																							
証券貸借白書を発表 (証券貸借リコール処理システム業務要件を記述)		10/28/01								(マイルストーン完了)													
改訂版のSTP証券貸借白書を発表 (証券貸借リコール処理システム業務要件を記述)										1/17/03					(マイルストーン完了)								
ベンダーによる証券貸借ARMS機能の提供														6/30/03									
主要なルール変更のドラフトを作成														6/30/03									
DTCC メッセージング・ハブの実装														4/15/03					6/30/04				
		ARMS機能												コーポレートアクション 通知機能									
<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div> 開始前のマイルストーン 順調に推移しているマイルストーン 達成が疑問視されているマイルストーン 達成が危険視されているマイルストーン 完了したマイルストーン 規制関連 手続き/慣行関連 技術関連 主要ドキュメント関連 </div> </div>																							

注: この資料は月次で更新されます。SIAウェブサイト(www.sia.com)をご参照下さい。

STP キー・マイルストーン

個人投資家取引関係者	2001				2002				2003				2004				2005				
ビルディング・ブロックとマイルストーン	ステータス	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
小切手への依存度の低減																					
資金決済白書の改訂版を公表	■	8/30/02 ▲ (マイルストーン完了)																			
券面の不動化																					
売買前の「システム(証券会社や預託機関等)」への証券返還に関する券面ルール変更ドラフトの起案	■	12/10/01 ▲ (マイルストーン完了)																			
証券売却前に「システムに戻されている」ことについてSEC がルール案を発表してコメントを求める	◐	12/31/02 ▲																			
券面白書の改訂版を公表	◑	6/30/03 ▲																			
レファレンス・データの標準化と業界標準プロトコルへの移行																					
主要なルール変更のドラフトを作成	◑	6/30/03 ▲																			
DTCC メッセージング・ハブを実装	◑	4/15/03 ARMS機能 ◐										6/30/04 コーポレートアクション 通知機能 ◐									
<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div> ○ 開始前のマイルストーン ◑ 順調に推移しているマイルストーン ◐ 達成が疑問視されているマイルストーン ◒ 達成が危険視されているマイルストーン </div> <div> ■ 完了したマイルストーン ▲ 規制関連 ▲ 手続き/慣行関連 ◐ 技術関連 ▲ 主要ドキュメント関連 </div> </div>																					

注: この資料は月次で更新されます。SIAウェブサイト(www.sia.com)をご参照下さい。

STP キー・マイルストーン

機関投資家取引関係者		2001				2002				2003				2004				2005			
ビルディング・ブロックとマイルストーン	ステータス	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
マッチング・ユーティリティとリンクの開発																					
Omgeo 当局の認可を受け、法的に設立	■	5/1/01 ▲ (マイルストーン完了)																			
相互運用性についてのガイドライン発表	■	11/19/01 ▲ (マイルストーン完了)																			
機関投資家向けオプション取引処理・コミッション計算のポジションペーパー完成	■	11/30/01 ▲ (マイルストーン完了)																			
Omgeoが米国向けマッチング・ユーティリティの業務仕様を発表	■	1/31/02 ▲ (マイルストーン完了)																			
外国為替白書を発表しグローバルにレビューを受ける	■	7/15/02 ▲ (マイルストーン完了)																			
改訂版のITPC(機関投資家取引処理)モデルを業界標準として採択	■	7/15/02 ▲ (マイルストーン完了)																			
GSTP AGがクロスボーダー・マッチング・ユーティリティを実装(稼働開始)	■	9/9/02 △ (マイルストーン完了)																			
Omgeoが米国クロスボーダー中央マッチング・ユーティリティを実装(全面リリース)	■	9/9/02 △ (マイルストーン完了)																			
マッチング未決事項(事前アロケート済み取引など)への勧告を完成	◎	3/31/03 ▲																			
マッチング・ユーティリティへの移行シナリオ・フローを確定	◎	3/31/03 ▲																			
ユーザ要件のドラフト完成	◎	4/15/03 ▲																			
Omgeoによる新しいマッチングモデルの実装	◎	6/30/04 △																			
レファレンス・データの標準化と業界標準プロトコルへの移行																					
SIAによる相互運用性についての質問事項について、マッチング・ユーティリティからの回答をまとめ、分析	■	11/15/01 ▲ (マイルストーン完了)																			
主要なルール変更のドラフト完成	◎	6/30/03 ▲																			
機関投資家取引における業務基準を完成	◎	6/30/03 ▲																			
DTCCがメッセージング・ハブを実装	◎	4/15/03 ARMS機能 △ 6/30/04 コーポレートアクション通知機能 △																			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div>○ 開始前のマイルストーン ◎ 順調に推移しているマイルストーン ◐ 達成が疑問視されているマイルストーン ◑ 達成が危険視されているマイルストーン</div> <div>■ 完了したマイルストーン ▲ 規制関連 ▲ 手続き/慣行関連 △ 技術関連 ▲ 主要ドキュメント関連</div> </div>																					

注: この資料は月次で更新されます。SIAウェブサイト(www.sia.com)をご参照下さい。

1. These PMO Reports were originally formulated in English by the Securities Industry Association, of the United States, and translated into Japanese by JSDA. The copyright for all PMO Reports is owned by SIA and SIA reserves all other rights.

2. JSDA is solely responsible for any errors in Japanese translation of the PMO Reports.

1. 本PMOレポート/キー・マイルストーン&ビルディング・ブロックは米国証券業者協会(SIA)が英文にて作成し、日本証券業協会が邦訳したものです。これらPMOレポートについての著作権はSIAにあり、その他すべての権利はSIAが留保します。

2. PMOレポートの邦訳における誤りの責任は全て日本証券業協会が負うものであります。